

ゲームプログラミング

基礎編 - 第5回 WinMain.cppの作成

ウィンドウの生成や破棄、メッセージの処理といったWindowsアプリケーションの基本的な処理を行うWinMain.cppを作成します。

マウスカーソルの消去

ゲームによっては、標準で表示されているマウスカーソルを消したい場合があります。また、マウスカーソルはDirectDrawと相性が悪い場合もあるので、特にフルスクリーンで動作するゲームの場合は、標準のマウスカーソルは消しておいた方が安全です。

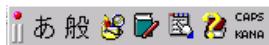
マウスカーソルは、ShowCursor関数で表示状態を変更することができます。Windowsは、内部に「マウスカーソル表示カウンタ」という情報を持っています。このカウンタが0以上のときにマウスカーソルが表示されます。ShowCursor関数は、このカウンタを増減することができるので、カーソルの表示状態を変更することができます。引数にTRUEを指定するとカウンタが1つ増やされ、FALSEなら1つ減らされます。カーソルを消去(非表示)にするには、引数にFALSEを指定し、カウンタが0未満になるまでループさせます。

```
// カーソル消去
while(0 <= ShowCursor(FALSE))
;
```

また、DirectInputでマウスを占有することによってもマウスカーソルを消すことができます。

IMEツールバーの消去

画面全体を覆うウィンドウを生成したとき、MS-IMEツールバーが表示されることがあります。



MS-IMEツールバー

このツールバーを消去するには、WINNLSEnableIME関数を使用します。1つ目の引数にツールバーが表示されているウィンドウのハンドル、2つ目の引数に表示フラグを指定します。表示フラグがFALSEならツールバーが非表示になり、TRUEなら表示されます。

```
WINNLSEnableIME(hWnd, FALSE); // hWndはメインウィンドウのハンドル
```

なお、この関数を使用するには、<winl32.h>をインクルードする必要があります。

スクリーンセーバを起動させない

Windowsの設定でスクリーンセーバが起動するようになっている場合、ゲーム起動中にもかかわらず、条件を満たすと強制的にスクリーンセーバに切り替わります。

ムービー再生中やエンディングのような、キーボードやマウスにまったく触れないシーンがゲームには多くあります。このようなシーンでは、特にスクリーンセーバの起動条件を満たしやすくなってしまいます。スクリーンセーバは、あるメッセージを処理することによって起動を阻止することができます。

スクリーンセーバが起動するとき、アクティブなアプリケーションに対してWM_SYSCOMMANDメッセージが送信され、追加情報(WPARAM)にSC_SCREENSAVEが格納されてきます。このとき、ウィンドウプロシージャで何も処理せずに1を返すと、スクリーンセーバの起動を阻止することができます。

```
case WM_SYSCOMMAND:
    if(SC_SCREENSAVE == wParam)
        return 1;
    return DefWindowProc(hWnd, uMsg, wParam, lParam); // スクリーンセーバは起動させない
// ほかのコマンドはデフォルト処理
```

課題

プロジェクトに以下のソースファイルWinMain.cppを作成し、追加しましょう。WinMain.cppには、ゲームプログラムのウィンドウ関係の処理を記述します。

WinMain.cppを作成するにあたって、以下の条件を満たすように作成しましょう。また、このソースファイルには足りない部分があるので、「関数解説」を参考にしながら完成させてください。

- 条件 -

- ・画面全体を覆うシンプルなウィンドウ(WS_POPUP)を生成
- ・カーソルを消去
- ・IMEを消去
- ・このプログラムがアクティブ状態にあるときは、スクリーンセーバを起動しない
- ・ESCキーでプログラム終了
- ・アイコンとバージョン情報を作成

WinMain.cpp関数解説

InitApp関数

- 説明 -

InitApp関数は、メインウィンドウの生成やゲームの初期化といった、アプリケーションの初期化処理を行います。

- パラメータ -

HINSTANCE hInstance...アプリケーションインスタンスのハンドル。メインウィンドウの生成やゲームの初期化に必要な

const int nShowCmd...ウィンドウ表示モード。メインウィンドウの生成に必要な

- 戻り値 -

すべての初期化処理に成功した場合はtrue、それ以外はfalseを返します。

ReleaseApp関数

- 説明 -

ReleaseApp関数は、メインウィンドウの破棄やゲームで使用した資源の解放といった、アプリケーションの解放処理を行います。

- パラメータ -

const HWND hWnd...メインウィンドウのハンドル。このウィンドウが破棄されます

- 戻り値 -

なし

CreateMainWindow関数

- 説明 -

CreateMainWindow関数は、メインウィンドウの「ウィンドウクラスの登録」、「生成」、「表示」、マウスカーソルの消去、IMEツールバーの消去といった処理を行います。

- パラメータ -

HINSTANCE hInstance...アプリケーションインスタンスのハンドル。メインウィンドウの生成に必要な
const int nShowCmd...ウィンドウ表示モード。メインウィンドウの生成時に使用

- 戻り値 -

関数が成功した場合はメインウィンドウのハンドル、それ以外はNULLを返します。

ウィンドウメッセージを処理する関数群

WndProc関数	メッセージを処理するウィンドウプロシージャです。
OnKeyDown関数	WM_KEYDOWNメッセージを処理します。
OnSysCommand関数	WM_SYSCOMMANDメッセージを処理します。
OnClose関数	WM_CLOSEメッセージを処理します。
OnDestroy関数	WM_DESTROYメッセージを処理します。

- WinMain.cpp -

```
/*
=====
                          ゲームプログラミング
Programmed by Hibikino software. Copyright (c) 2003 Hibikino software. All rights reserved.
=====
【対象OS】
  Microsoft Windows98/2000以降
【コンパイラ】
  Microsoft VisualC++ 6.0J ServicePack5
【プログラム】
  WinMain.cpp
  WinMain
【履歴】
  * Version    0.00    2002/04/dd hh:mm:ss 初版
=====
*/

/*****
/*                          インクルードファイル                          */
/*****
ここは各自考えましょう
ここは各自考えましょう
ここは各自考えましょう

/*****
/*                          定 数                          */
/*****
LPCTSTR  MAINWND_CLASS = "GMPROG_MAINWND";           // ウィンドウクラス名
LPCTSTR  MAINWND_TITLE = "ゲームプログラミング";      // ウィンドウタイトル

/*****
/*                          外部参照変数                          */
/*****

/*****
/*                          グローバル変数                          */
/*****

/*****
/*                          プロトタイプ(プライベート)                          */
/*****
static bool InitApp(const HINSTANCE hInstance, const int nShowCmd);
static void ReleaseApp(const HWND hWnd);

static HWND CreateMainWindow(const HINSTANCE hInstance, const int nShowCmd);

static LRESULT CALLBACK WndProc(HWND hWnd, UINT uMsg, WPARAM wParam, LPARAM lParam);
static int OnKeyDown (const HWND hWnd, const WPARAM wParam, const LPARAM lParam);
static int OnSysCommand(const HWND hWnd, const WPARAM wParam, const LPARAM lParam);
static int OnClose (const HWND hWnd, const WPARAM wParam, const LPARAM lParam);
static int OnDestroy (const HWND hWnd, const WPARAM wParam, const LPARAM lParam);

/*****
/*                          WinMain                          */
/*****
int WINAPI WinMain(HINSTANCE hInstance, HINSTANCE hPrevInstance, LPSTR lpszCmdLine, int nShowCmd)
{
  // アプリケーション初期化
  if(false == ??????(hInstance, nShowCmd))
    return 0;

  // メッセージループ
  MSG msg;
  ZeroMemory(&msg, sizeof(msg));
  while(true) {
    const BOOL bRet = GetMessage(&msg, NULL, 0, 0);
    if(0 == bRet || -1 == bRet)

```

```

        break;
        TranslateMessage(&msg);
        DispatchMessage(&msg);
    } // while(true)

    return msg.wParam;
}

/*****
/*                      アプリケーション初期化                      */
*****/
bool InitApp(const HINSTANCE hInstance, const int nShowCmd)
{
    // メインウィンドウ生成
    const HWND hWnd = ??????????????(hInstance, nShowCmd);
    if(NULL == hWnd)
        return false;

    return true;
}

/*****
/*                      アプリケーション解放                      */
*****/
void ReleaseApp(const HWND hWnd)
{
    ??????????????(hWnd); // メインウィンドウ破棄
}

/*****
/*                      メインウィンドウ生成                      */
*****/
HWND CreateMainWindow(const HINSTANCE hInstance, const int nShowCmd)
{
    // ウィンドウクラス登録
    WNDCLASSEX wcx;
    ZeroMemory(&wcx, sizeof(wcx));
    wcx.cbSize = sizeof(wcx);
    wcx.style = 0;
    wcx.lpfnWndProc = WndProc;
    wcx.cbClsExtra = 0;
    wcx.cbWndExtra = 0;
    wcx.hInstance = hInstance;
    wcx.hIcon =  // ここは各自考えましょう
    wcx.hCursor = LoadCursor(NULL, IDC_ARROW);
    wcx.hbrBackground = (HBRUSH)GetStockObject(BLACK_BRUSH);
    wcx.lpszClassName = MAINWND_CLASS;
    wcx.lpszMenuName = NULL;
    wcx.hIconSm = NULL;
    if(0 == ??????????????????(&wcx)) {
        OutputDebugString("*** Error - ウィンドウ登録失敗\n");
        return NULL;
    }

    // メインウィンドウ生成
    HWND hWnd =  // ここは各自考えましょう
    if(NULL == hWnd) {
        OutputDebugString("*** Error - ウィンドウ生成失敗\n");
        return NULL;
    }

    // カーソル消去
    // ここは各自考えましょう

    // IME消去
    // ここは各自考えましょう

    SetFocus(hWnd); // フォーカス設定
    ShowWindow(hWnd, nShowCmd); // ウィンドウ表示
    UpdateWindow(hWnd); // クライアント領域更新

    return hWnd;
}

```

```

/*****
/*          ウィンドウプロシージャ          */
/*****
LRESULT CALLBACK WndProc(HWND hWnd, UINT uMsg, WPARAM wParam, LPARAM lParam)
{
    switch(uMsg) {
        // キーダウン
        case WM_KEYDOWN:
            return ????????(hWnd, wParam, lParam);

        // システムコマンド処理
        case WM_SYSCOMMAND:
            return   ここは各自考えましょう

        // ウィンドウクローズ
        case WM_CLOSE:
            return   ここは各自考えましょう

        // ウィンドウ破棄
        case WM_DESTROY:
            return   ここは各自考えましょう
    } // switch(uMsg)

    return   ここは各自考えましょう
}

/*****
/*          WM_KEYDOWNメッセージ処理          */
/*****
int OnKeyDown(const HWND hWnd, const WPARAM wParam, const LPARAM lParam)
{
    switch(wParam) {
        // ESCキー(終了)
        case ???????:
            ReleaseApp(hWnd);
            break;
    } // switch(wParam)

    return 0;
}

/*****
/*          WM_SYSCOMMANDメッセージ処理          */
/*****
int OnSysCommand(const HWND hWnd, const WPARAM wParam, const LPARAM lParam)
{
    switch(wParam) {
        // スクリーンセーブ起動防止
        case SC_SCREENSAVE:
            return ?;
    } // switch(wParam)

    return DefWindowProc(hWnd, WM_SYSCOMMAND, wParam, lParam);
}

/*****
/*          WM_CLOSEメッセージ処理          */
/*****
int OnClose(const HWND hWnd, const WPARAM wParam, const LPARAM lParam)
{
    ReleaseApp(hWnd);

    return 0;
}

/*****
/*          WM_DESTROYメッセージ処理          */
/*****
int OnDestroy(const HWND hWnd, const WPARAM wParam, const LPARAM lParam)
{
    PostQuitMessage(0);

    return 0;
}

```